



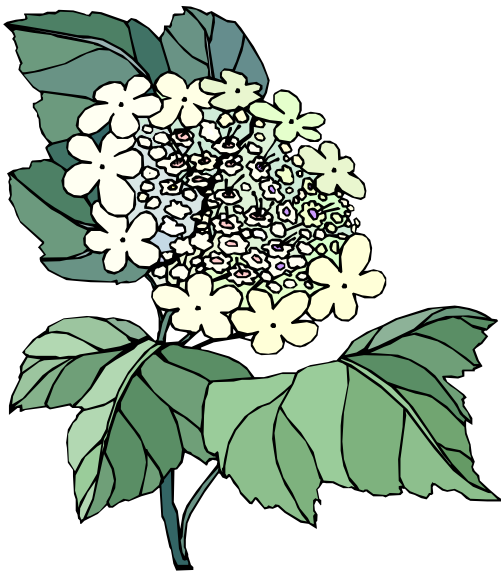
平成 22 年 7 月 1 日 木曜日 佐事研第 64 号

佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 鮎川慶一

会員各位

平成 22 年度も早、7 月、1 学期も終わりに近づいてまいりましたが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。黄金色の麦刈が終わり、「さがびより」の田植えも終わり佐賀平野は緑一色の景色です。稲がぐんぐん伸びていくように、事務職員も確実に一步一步前進していきたいものです（厳しい時代ですが）。

それでは、今年度最初の「佐事研だより」をお届けします。テーマは「4 月の異動で県立へ転出・県立より転入の事務職員の近況報告」ということで、各地区の近況報告をいたします。佐事研大会アンケート結果も掲載しておりますのでご覧下さい。



県立高校へ転出の先生

平成 20 年度より 2 年間 鳥栖中学校でお世話になりました。実際に勤務する前は、共同実施加配ということも知らされていなかったため、1 人勤務への不安から、事務引継でお話を伺いに行ったのを昨日の事のように思い出します。幸にも 2 人体制でしたので、腰を据えて職務に専念することができました。私にとってこの 2 年間は、対応できる仕事の守備範囲が広がったのは勿論ですが、それ以上に良い思い出を作ることができたのが何よりも嬉しかったです。幼い頃より育った鳥栖の地で、たくさんの恩師と再会できたこと、地元の先輩や後輩と再会できたこと、勤務校の先生方と美味しいものを食べたり、飲んだり、プライベートにまで及ぶ数々のイベントがあったこと、ここに書き尽くせない思い出がいっぱいです。

さて、2 年ぶりに高校勤務へとなりましたが、当時を思い出しつつ、少しずつリハビリが進んでいます。施設の老朽化もあってか、毎日のように破損や故障があり、その都度慌しく走り回っています。これから大きな工事も抱え、さらに学科改編等、押し潰されそうな重圧の中、何とか踏ん張りながら忍耐の続く毎日です。そんな中にも、生徒が実習で作ってくれる作物や野菜、お菓子類は、今では大きな楽しみの一つとなっています。

2 年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。小中学校と高校、仕事内容は違う部分がありますが、お互いに頑張っていきましょう！！ ありがとうございました。

アクセス！！ <http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken>

p1

県立高校より転入の先生

Q 1、人事交流（県・県立学校）にどのようなイメージをもっていましたか？また、異動後にギャップを感じることはありましたか？

→A 1、県立は事務職員が何人もいて、いろいろ教えてもらえるのかと思っていましたが、実際は、担当以外（今まで担当したことがない部分は）は分からない人が多いようでした。また、男性は施設関係、女性はそれ以外を担当するという感じがありました。

県立でも最近では人員の削減や、事務の効率化で委託や一部消耗品の単価契約などの入札を共同で行うなど共同実施を始めています。複数いるけど、その仕事を担当しているのは学校に一人だけ（事務長に相談はできますが）という点では義務制と変わらないようです。



Q 2、義務制との仕事の違いは？（進め方、分担等・・・）

→A 2、年度当初に事務長が分担を決められます。一応正副の 2 名体制ですが、実際は、正の部分で手がいっぱい副のみでは回りませんでした。分担がはっきりと分かれているので、担当以外のものが口出しできないような感じでした。

進め方は、事務長・校長が決裁権を持っているので、すべて起案をして決裁をもらってからになります。去年と同じ文書でも、回覧後にはたくさん赤で訂正されていることもありました。仕事は、普通高校より実業系高校のほうが、人員は変わらないのに仕事量が多くて大変のようです。県立では、お金に係るものはすべて事務室でとなっているので、クラス費や部費の通帳も全て校長の名義で、事務室に保管されています。お金の出し入れは全て事務長・校長の決裁を受けてからになるので、事務長は大変ですが、きちんとシステム化されていて、義務制もこうなればいいなと思いました。（先生方に浸透させるのが大変でしょうが・・・）



Q 3、学校や先生・生徒、事務室の雰囲気はどうでしたか？（義務制との違いは？）

→A 3、職員が多くて（定時制もあって）覚えるのが大変でした。先生方は優しいのですが、結構細かく給与明細も見られていて質問される方も多くて意外でした。学校の中では事務室は別の組織のようで、学校行事があってもほとんど通常業務で、係が割り振られていないときは何がやっているのか分からないときもあり、せっかく学校にいるのに・・・と寂しく感じることもありました。事務室の雰囲気は、事務長によっても変わるようですが、割と和やかな雰囲気でした。監査前の 1 ヶ月だけはピリピリしていました。

Q 4、ご自身が担当した仕事の中で、苦労したり・達成感を得たのはどのようなことでしたか？

→A 4、給与関係と授業料を主に担当しました。給与は、職員数が多いため手当認定でもいろいろなケースがありとても勉強させられました。また、認定権が事務長にあるため、毎年の監査でもつっこんだ質問をされました。授業料については、徴収の手続きから督促までありましたが、特に督促と減免手続きが人数も多くて大変でした。個人情報も多く、また家庭のデリケートな部分に関わるのでとても気を遣いました。逆切れされて怒鳴られたこともありましたが、事務長がとても理解があり協力してくださったので助かりました。1年目は、出納閉鎖ぎりぎり完納したのでよかったのですが、異動前に未収入があったので、最後の日まで督促で追われていました。授業料の無償化もなかなかはっきりとせず、最後まで悩まされました。



Q 5、交流が終わられて、率直な感想をおねがいします。

→A 5、とても忙しかったのですが、いろんな方に助けられて無事に終わりました。最初は誰一人知り合いもいず、交流だからまた義務制に戻るんでしょというふうに見られて悩むこともありましたが、慣れてくると相談に乗ってくれる仲間が身近にいてくれるので心強く感じるようになりました。駅伝の全国大会出場や、創立 70 周年の記念行事での寄付金集めなど、義務制では経験できないようなこともできて、大変でしたがとてもよかったと思っています。



Q 6、これから人事交流を希望する方等にアドバイスやメッセージをおねがいします。

→A 6、義務制は学校が変わると市町の財務規則も変わって仕事の進め方から変わりますが、その分、変化には強いと思います。不安もあるでしょうが、チャンスがあればぜひチャレンジしてみてください。いろいろな経験が出来て面白いと思いますよ。

高校との交流はこれからも続きます。また、義務制にもどられたり、高校へ転出されたりします。先生方を忘れないように！！！！

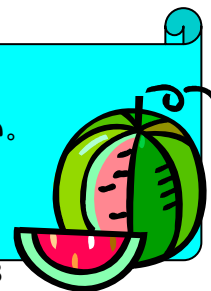
～編集後記～

初めての調査広報部員です。簡潔明瞭な佐事研だよりですが、読んでください。

会員の皆様からの情報も大歓迎です。よろしく、お願いいたします。

鳥栖基山地区 ・ 神埼地区 担当 調査広報部員

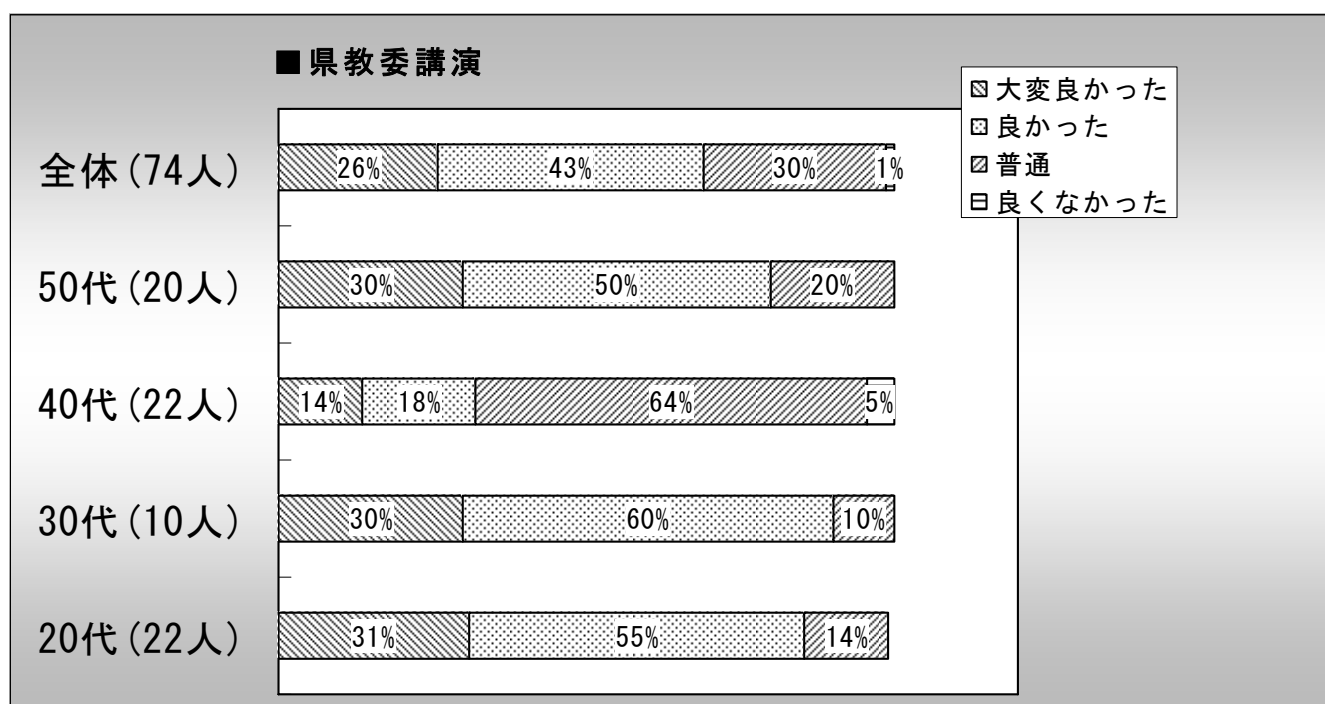
アクセス！！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken>) p 3



第27回大会アンケート結果

貴重なご意見をどうもありがとうございました。回答率は前回より若干上がっていますがそれでも参加者の34%に過ぎません。少し残念ですが今後の大会運営上の参考にさせていただきます。コメントについては回答者の原文をそのまま掲載しています。

§ 県教委講演について



【コメント】

■ 20代

- ・ 貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 教職員課での仕事内容の話もお聞きしたかった。

■ 30代

- ・ 教職員課とのコミュニケーションをもっと積極的にとっていきたい。

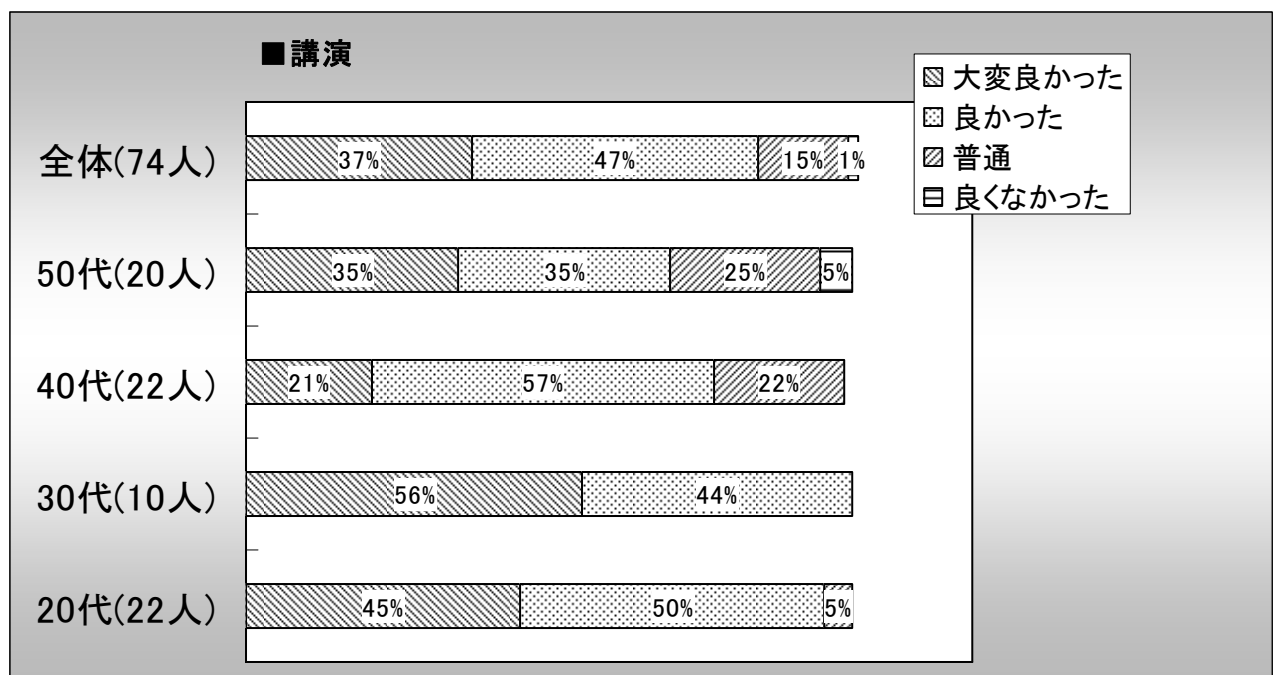
■ 40代

- ・学校事務職員の仕事の内容をコメントしてもらいたかった。
- ・参事様とは新採のころいっしょに勤務したのでとてもなつかしく聞かせて頂きました。
- ・やわらかいお人柄が伝わるようでした。雲の上のイメージの教職員課が身近に感じました。
- ・行政での経験(特に事務の流れ)を是非、学校現場に広めて欲しいと思いました。

■ 50代

- ・同じ世代なので自分の経歴と重ね合わせて聞いていました。

§ 講演について



【コメント】

■ 20代

- ・人と接する時の聞くポイント、セルフチェックのポイント等も知ることができて良かったです。
- ・自分の身に置きかえていろいろ考えることがあった話だった。
- ・日頃聞く時間がなかなかできないスクールカウンセラーの講演、気持ちが少し楽になった。

■ 30代

- ・非常にためになりました。
- ・相談すること(コミュニケーション)の大切さを痛感した。思い切って「話す」ということも大事にしたい。
- ・カウンセラーは身近な存在なんだなあと思った。日々の中での雑談も大事な会話の一つとしてとらえたいと思う。
- ・語り口が巧妙で大変分かりやすかった。

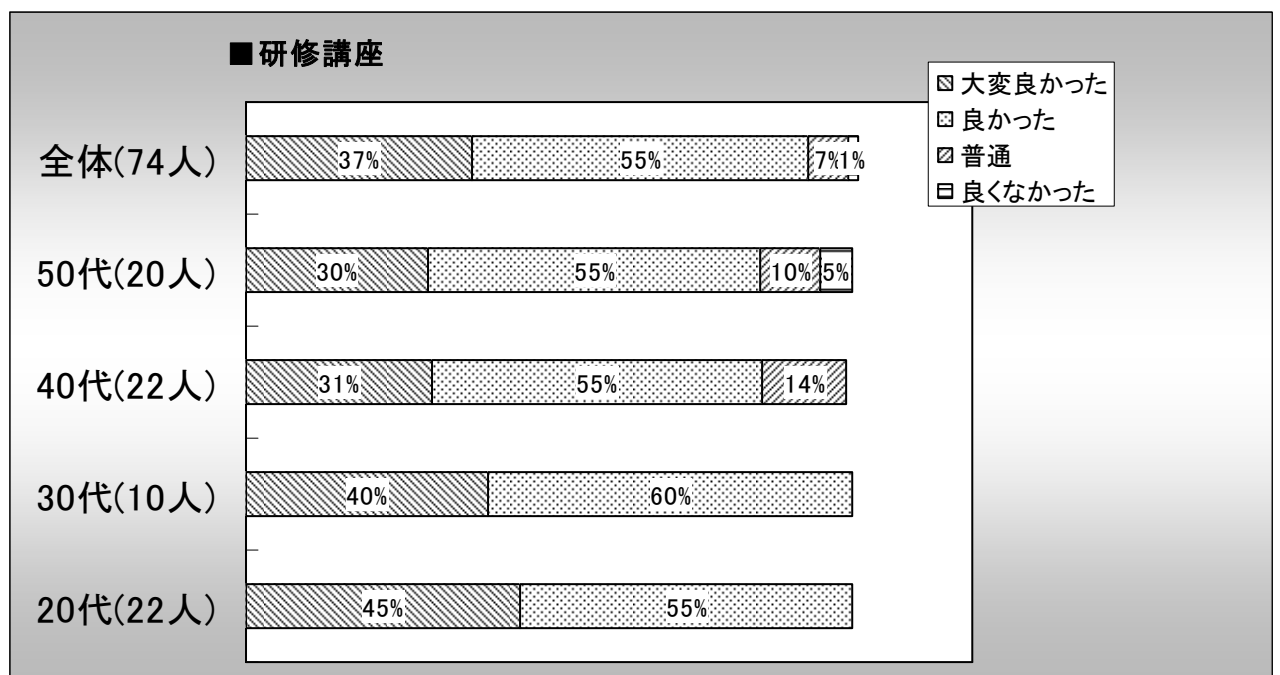
■ 40代

- ・「酒に覚醒作用があったこと」頭にインプットされました。
- ・スクールカウンセラーの方と話をしたい。
- ・「きついときは人に話す。相談することが大事」ほんとうにそうだなあと思いました。ゆっくりと、じっくりと話がきけて良かったです。
- ・「相談の中から見えてきたもの」を聴いて、人の話を聴くことの大切さを実感できた。

■ 50代

- ・わかりやすかった。

§ 研修講座について



【コメント】

■ 20 代

- ・ 歴史をふまえ、これからのことを改めて考えるきっかけとなりました。
- ・ あらためて自分の現状を振り返り考察したいと思う。
- ・ 難しい講座内容であったが例をあげて分かりやすく説明して下さったのですと内容が入った
- ・ これからの学校事務を考える意欲になりました。

■ 30 代

- ・ 事務職の変化について行く、又は対応できる柔軟な思考をもっていきたい。
- ・ 刺激になった。思うだけでなく行動に移していきたいと思う。

■ 40 代

- ・ 変化を見極めながらこれから仕事をしていきたいと思えます。
- ・ 先人の苦勞が分かりました。詳しい内容で勉強になりました。
- ・ 戦時中から現在に至るまで生き生きと語られた。学校事務職員の在り方に感心しました。マンガの引用のプレゼンが良かったです。(絵や写真も挿入してみてください！)

■ 50 代

- ・ 若い人にとって。
- ・ 若い人にとってはもちろん自分の世代にとってもためになった。
- ・ 時系列に沿った説明が分かりやすかった。

§ その他のコメント

■ 20 代

- ・ 講演はいずれも興味深いものでした。
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 大会の幕の後援に「市町村教育..」と書いてあります。作りかえてはどうでしょうか。
- ・ 資料代 500 円は高いと思います。
- ・ 会場内が暑かった。3 名の方の貴重な話が聞けて勉強になりました。
- ・ 勉強になりました。どうもありがとうございました。
- ・ 学校事務職員のおかれている立場をもっと勉強しなければならないと思いました。

■ 30代

- ・ 2つの講演に共通して“コミュニケーションの大切さ”を改めて実感させられたように思う。明日からでも実践して行きたい。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 総会については事前に資料を送付し、質問を先にとることで時間短縮できないでしょうか。

■ 40代

- ・ 講演が多いと思います。会場参加型も考えられたら良いと思います。
- ・ 少し会場が暑かった。
- ・ スクールカウンセラーの話は今後も機会をもってほしい。
- ・ 学校の中では一人ですがここに来ると一人ではない。悩んでいることも達成感を感じることも皆さんと一緒にんだとパワーをもらった気がします。ありがとうございました。佐事研のHP、よくお世話になっています。とても助かります。ますますの充実をよろしくお願いします。
- ・ 県校長会定期総会、教頭会も半日の日程で開催している中で1日の研修は厳しい。共同実施で学校を留守にする事も多い現状では出来る限り学校にて執務を行いたいと思います。次回から1日の日程に関し再考をお願いしたい。無理に研修を詰め込んだ印象があります。
- ・ 松本参事や鮎川会長の話は学校事務職員の立場からの講演でリアリティーに溢れておりユーモアもあって聴きがいもありました。
- ・ おつかれ様でした。

■ 50代

- ・ 若い人がずいぶん増えて、雰囲気が変わっている様、でも元気を感けないので寂しいです。これで元気がでるといいですね。
- ・ アバンセの冠名は県男女共同参画・生涯学習センターに変更になって久しいと思います。確認のうえ善処をお願いします。
- ・ 会長はじめ役員 AND 研修部の皆さんおつかれ様でした。